

越後高田雪の会

越後高田雪の会 会長 飯倉光信

人とのつながりは不思議なもので、ある仕事関連の会で偶然にも高校時代の同期生と再会したのがきっかけで、同期会をやるうじやないか、という話がまとまり以来毎年六月第一週の土曜日に同期会を開催し、十六年を数えている。

そのことが縁で郷人会を発足させたという飯倉氏。現越後高田雪の会会長強い要望があり平成五年に十二名ほどの有志が集まり郷人会設立に向けてスタート致しました。

ほとんどの人が経験の無い人達ばかりであったため、既存の会の方々にお知恵を拝借しながらの設立準備会で「会名や〔会則〕など、決定までかなりの時間を要したように記憶しています。特に会名には意見が続出し、最終的に決定した、越後高田雪の会」は大変欲張りです。郷土色豊かな会名となったと今でも自負して

います。

会の主たる目的は会員相互の親睦を図ることであるが、単なる郷人会にとどまらず会員相互の親睦と良きパートナーであり、心の豊かさを求めていくことです。

設立総会は平成七年七月七日新潟県人会館で設立趣意書に同意いただいた約五十名での発足でした。以来、毎年一回、総会並びに懇親会という形で懇親の場を設定しています。

会を慢性化させないために趣向を凝らした開催に配慮しています。

過去の主な内容として

- 平成七年 設立総会 新潟県人会館
- 平成九年 「賢女さ、きてくんない」
- 下北沢 本多劇場(劇団文化座)

- 平成十一年 高田城址公園 観校会
- バス旅行 一泊二日

- 平成十二年 屋形船 お台場
- 平成十三年 老神温泉、沼田方面

- 温泉、リング狩り 日帰りバス旅行
- 平成十六年 クルージング豪華船
- 東京湾

現在会員数は一五二名で設立当時の三倍となっています。

これからの課題は会員の高齢化が進む中で、若い人たちの参加を徐々に進めていく必要がある。もう一つは郷土との関係で、現在郷土産物の購買でつながりを持つているが、上越市との関係をどのような形でつながりを持たせるかが課題と思われる。

これからも会員の皆さんに喜んで集まって頂ける会であるように役員一同頑張っています。上越市も先の町村合併で範囲を拡大しました。是非、この機会に新入会員の希望がありましたら事務所までご連絡下さい。

(副会長 下島豊治 記)

【事務局】

〒一三三・〇〇三三

東京都文京区本郷四・二五・六

大成工業(株)内 越後高田雪の会

会長 飯倉光信

電話 〇三・三八一四・〇九四一

ファックス 〇三・三八一四・一八八三



第9回定期総会 竹芝ヴァンテアン (16.11.14)